

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2016/12/30	2017/9/29	2017/10/6	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	19,114.37	20,356.28	20,690.71	20,952.71	2015/6/24	14,529.03	2014/10/17
NYダウ	ドル	19,762.60	22,405.09	22,773.67	22,777.04	2017/10/5	15,370.33	2015/8/24
円/ドル	円	116.96	112.51	112.65	125.86	2015/6/5	99.02	2016/6/24

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～市場予想を上回る米国経済指標の発表が相次いだことなどを受けて4週続伸～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+334.43円(+1.64%)、TOPIXが+12.41ポイント(+0.74%)となり、市場予想を上回る米国経済指標の発表が相次いだことなどを受けて4週続伸となりました。業種別(東証33業種)にみると、水産・農林業、非鉄金属、不動産業など25業種が上昇する一方、鉱業、空運業、石油・石炭製品など8業種が下落しました。

週明け2日は、朝方発表された日銀短観で大企業製造業のDI(業況判断指数)が市場予想を上回る改善を示したことなどを受けて上昇して始まったものの、騰落レシオ(25日移動平均)が130%を超えるなどテクニカル面でやや過熱感がみられたことなどから、上値の重い展開となりました。3日は、前日の米国株市場が市場予想を上回るISM製造業景況指数の発表等を受けて上昇したことや、円安ドル高が進んだことなどから大幅高となりました。その後週末にかけても、①市場予想を上回る米国経済指標の発表が相次いだことなどを受けて米国株市場が堅調に推移したこと、②サンフランシスコ連銀のウィリアムズ総裁やフィラデルフィア連銀のハーカー総裁が年内利上げを支持する姿勢を示したことを受けて円安ドル高が進んだことなどから堅調に推移し、日経平均、TOPIXとも年初来高値を更新する展開となりました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	前回
10月10日	Tue	日本	国際収支:経常収支	8月 2兆3200億円
			貿易収支(国際収支ベース)	8月 5666億円
			景気ウォッチャー調査現状	9月 49.7
		欧州	景気ウォッチャー調査先行き	9月 51.1
			衆議院選挙公示	
			EU財務相理事会(ルクセンブルグ)	
10月11日	Wed	国際	スペインカタルーニャ州議会	
		北朝鮮	労働党創建記念日	
10月12日	Thu	米国	IMF経済見直し	
		日本	労働党創建記念日	
		米国	FOMC(米連邦公開市場委員会)議事録公表	
10月13日	Fri	日本	国内企業物価指数(前年比)	9月 2.9%
		米国	第3次産業活動指数(前月比)	8月 0.1%
		国際	PPI(生産者物価指数)(除食品・エネルギー/前年比)	9月 2.0%
		米国	G20(20カ国・地域)財務相・中央銀行総裁会議(ワシントン、13日まで)	
10月13日	Fri	米国	CPI(消費者物価指数)(除食品・エネルギー)	9月 1.7%
		米国	小売売上高(除自動車)(前月比)	9月 0.2%
		米国	ミシガン大学消費者信頼感指数	10月 95.1

決算発表予定 他	
日本	決算発表: 10/10 高島屋、J.フロントリテイリング 10/11 ローソン、ユニー・ファミリーマートホールディングス 10/12 セブン&アイ・ホールディングス、ファーストリテイリング
米国	決算発表: 10/11 ブラックロック 10/12 JPMorgan・チェース、シティグループ 10/13 バンク・オブ・アメリカ、ウェルズ・ファーゴ

* 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～世界景気の拡大や円安ドル高の進行等を受けて日経平均21,000円を試す展開～

今週の日本株市場は、①米国経済指標において、6日に発表された米国非農業部門雇用者数こそハリケーンの影響を受けて市場予想を下回ったものの、総じて市場予想を上回る良好な結果が続いていること、②IMF(国際通貨基金)は10日発表予定の世界経済見通しを上方修正する可能性が高いこと、③米国の年内利上げ観測の高まりを背景に円安ドル高基調が続くとみていること、④騰落レシオ(25日移動平均)が110%台まで低下するなどテクニカル面での過熱感が後退していることなどから、日経平均21,000円を試す展開を予想します。但し、①10日は北朝鮮の労働党創建記念日にあたり、北朝鮮の動向に対して警戒感が高まりやすいこと、②10日に開催されるスペインのカタルーニャ州議会では、1日に行われた独立の是非を問う住民投票の結果を受けて独立宣言が行われる可能性があること、③衆議院選挙活動が本格化する中、自民党が大幅に議席数を減らすとの見方が一段と強まる可能性があること、④週末13日にSQ(特別清算指数)を控えていることなどから、株価は上下に大きく動きやすいとみています。

その他の注目材料として、日本では10日の貿易収支や景気ウォッチャー調査、米国では今週から本格化する決算発表や11日のFOMC議事録、国際では12日のG20財務相・中央銀行総裁会議などが注目されます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co., Ltd.
URL: <http://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、投資の参考となる情報提供を目的として作成したもので、特定の商品に対する投資勧誘を意図するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。資料中に記載されたグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、コメントについては作成日時時点での判断であり、将来予告なく変わることがあります。最終的な投資決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。